

14th  
Regular  
Concert

専修大学グリークラブ

1978年11月22日(水)  
中央区立中央会館



第13回専修大学グリークラブ定期演奏会  
於：中央区立中央会館'77. 11. 9

### 御 挨拶

本日はお忙しい中、我々専修大学グリークラブ第14回定期演奏会にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

こうして演奏会が開催できますのも、ひとえに皆様方の温かいご支援の賜物と部員一同心より感謝しております。

我々は合唱という音楽活動を通して、人間の形成を図るとともに、無限の研究心を育成することを目標に、今日まで頑張ってまいりました。

まだまだ合唱技術は未熟でございますが、我々の練習成果を最後までご鑑賞いただき、楽しい一時を過ごしていただければ幸いと存じます。

最後にこの演奏会を開催するにあたりご協力下さいました関係者各位に対しまして、心より厚く御礼申し上げます。

専修大学グリークラブ



## ひとこと

専修大学文学部教授・グリークラブ顧問 早坂 禮 吾

生田の山は色づき、武蔵・相模に広がる空は青く澄んで、今年もまた専大グリークラブの定期演奏会の季節がやってきた。

若い学生たちがひたむきにかけて、一年間の精進の成果を聞いて頂き、評価して頂く時がきたのである。どうぞ好意を持って、この未熟な、しかし真剣な努力の積み重ねであるわれわれの歌を、聞いて頂きたい。

これが終ると部員の四分の一は卒業のために去り、クラブはまた新しいメンバーを揃えて、新しいハーモニーを形成するのである。学生のクラブ活動はこうしてとどまるところがない。ゆく川の流れは絶えないが、しかし元の水ではないといった、方丈記の「あはれ」を思わせるのもグリークラブである。

しかし、その流れに一点のよき指導が加わると、その表面はたちまちにして輝きわたり全く異質のもののような美が生れる。このクラブは長い間、よい指導者に恵まれて、学園の中に芸術性の豊かな一つの世界をきづき続けてきたことを思うと、今更のように指導者の方々に感謝を捧げないではいけない。

若い学生に無限の可能性を信じて、共に歩んできた私も、創立以来十余年になる。何か大きな事業をこの世に残したような満足感が私の心の底に横たわっているようだ。

多くの専大グリークラブの支持者たちに、改めて、心からの感謝を捧げたい。



専修大学長・経済学博士 高橋長太郎

グリークラブは、共通の趣味である音楽を通じて、団体生活の中で、人間性の高揚と社会性の訓練を目的として活動しております。

一年毎にメンバーの変る学生集団では、技術的にも非常に困難がありますが、にもかかわらず、逐年充実を図り、正常な運営が見られることは、諸君が建学の精神はもとより、学生の本分を心得ていることに外ならないと思います。

本日は、平素の練習の成果を会場の皆様にご披露申し上げ、皆様からのきたんのないご批評、ご忠言を仰ごうというものであります。会場の皆様と共に、旋律を通じて“和”のすばらしさ、尊さを味わうことが出来ますれば、望外の喜びであります。どうか、ごゆっくりおろろぎ下さいますと共に、温かいご声援をお願いいたす次第であります。

——— < ホンモノのコーラスを求めて >

岡 本 仁

元来、合唱とはメンバーひとりひとりの声による技巧のひけらかしではなく、耳と心を澄ませて、聴きあいをするのが全てであるといってもいい過ぎではありません。しかし昨今のコーラス・エリート達による超絶技巧的な離曲へのとり組みを拝見していますと何か、心が寒くなるような淋しさをおぼえますのは、わたしひとりの偏見なのでしょう。

年一回のコンクールは、その頂点ともいふべき閉鎖と排他に満ちあふれているようで、ホントに夢も希望もないウツロの大会です。

少年野球・ママさんバレーの例えをひくまでもなく、わたしども日本人の本末転倒しやすい習癖は悲しいことです。

10余年間、専修大学グリークラブに指導と助言の機会を与えられてまいりましたが、これからも、頼もしき僚友、押塚氏と一緒に道をふみはずさないコーラスとして育て上げたものだ、と決意を新たにして居ります。

ご来聴の皆さまへの感謝の言葉にかえて。



# PROFILE

## 常任指揮者 岡本 仁



昭和30~36年国立音楽大学にて教育音楽と作曲を学ぶ。現在、母校の国立音大で教鞭をとる傍ら、全国各地に於て演奏活動を続けている。

氏のスケールの大きな指揮ぶりは、我々の心を取りこにしてしまうほどである。

今宵は氏のダイナミックな演奏により十分に楽しんでいただけたと思います。

## 常任指揮者 押塚 登貴夫



昭和40年国立音楽大学教育音楽科卒業。現在日本レクリエーション協会に勤務されて音楽の楽しさを広めるため全国を駆け回っておられます。

氏はお酒をこよなく愛し気さくであり我々にとってまるで兄貴のような存在です。9月の岩手コンサートでは氏の巧みな話術と指揮で大成功に幕を閉じることができました。

## ヴォイストレーナー 渡辺 多津彦



昭和42年国立音楽大学声楽科卒業。44年同専攻科修了。波多野靖祐、矢田部勤吉、大熊文子の各氏に師事し在学中同大公演オペラ「魔笛」などに出演。現在東京歌劇場同人として活躍されている。その个性的でつやのある美声は我々グリーンメンにとってこの上ないお手本である。

どうぞ氏のすばらしい美声をお聞きください。

## ピアニスト 沼沢 広子



昭和48年国立音楽大学教育音楽科卒業。ピアノを藤原弘江に師事し、その他を岡本仁氏に学ぶ。普段はつましやかな野に咲く一輪のバラという形容がぴったりの先生ですが、一旦ピアノを弾き出されるとその活発な指の動きに驚かされます。

今宵のステージでも先生の快いピアノのメロディーをみなさまにお聞きいただけます。

## 学生指揮者 宮木 雅美



昭和51年県立横浜商業高校卒業。現在専修大学商学部商業学科3年在学中。未来の人間を連想させるような独特の風貌と表情の中に秘めた豊富な音楽知識は50名の部員を統制して余りある。(ゲーム)をこよなく愛する雅美君にとってマージャン牌を投げる気質は勝負師としての最大の欠点であろうがそれにしては、バイタリティーは何処から生まれるのか果して魔法のカバンの中からか？

# PROGRAM

## 校 歌

高野辰之 作詞 信時 潔 作曲 岡本 仁 編曲

- I 大脱走マーチ  
Side by side  
いざたて戦人よ  
ふるさと  
自由の歌
- A. L. スティルマン作詞  
エルマー・バーンスタイン作曲  
ハリー・ワーズ 作詞・作曲  
藤井泰一郎 作詞 グラナハム 作曲  
オナーティン 作曲 オリオンコール 編曲  
夏目利江 訳詞 J. H. シュトウンツ 作曲

- II 山のおやじ  
雨ニモマケズ
- 古茂田信男 作詞 中村太郎 作曲  
宮沢賢治 作詞 中村太郎 作曲

## 休 憩

- III 男声合唱組曲  
アイヌのウポポ
- 近藤鏡二郎 採譜 清水 修 作曲

- I くじら祭り  
II イヨマンテ  
III ピリカピリカ  
IV 日食月食に祈る歌  
V 恋 歌  
VI 輪 舞



IV  
 ポーリュシユカポーレ  
 カチューシャ  
 ウラルのぐみの木  
 カリンカ

グーセフ 作詞  
 クニツベル 作曲 井上頼豊 訳詞  
 M・イサコフスキー 作詞  
 Mブランテル 作曲 関 鑑子 訳詞  
 M・ピリペンコ 作詞  
 Eロディギン作曲 関 鑑子 訳詞  
 ロシア民謡 井上頼豊 訳詞

休 憩

V  
 ? ? ?

休 憩

VI OB合同ステージ

エール専修

製作

楽譜作り50年 楽譜のことなら……

製作引受<sup>マス</sup> 各種印刷物の製作

**アポロン企画**

毎度ありがとうございます。

☎ (03) 716-5071

## こんやの曲をめぐって

そろそろ秋風が立つころになると、春浅き合宿の頃から歌いためてきた曲目を整理して、コンサートのプログラム検討が始まる。今年を中心はウポポ、しかし前後に何をあしらうかで議論百出、押塚君と私とで学指揮の意見をきく。メンバーのほうは、アメリカものを推す者とロシアものを強く主張する者でまっ二つとのこと、一ヶ月以上の思案の末、今夜の曲だてが出来上ったというわけ。

恒例の校歌による開幕にひきつづいて、ややナツメロともいえるアメリカの歌を2曲歌う。大脱走のマーチは口笛入り、サイドバイサイドは、まったくなつかしの佳曲、といった所か。

続く3曲、いざ起て戦人（いくさびと）と自由の歌は、全国グリー必須曲なのでおなじみ、間に珍しいふるさとという歌をはさむ。

ひと呼吸いれて、中村太郎の作品をふたつ、山のおやじは、勿論おっかなくて愛敬者の熊の歌、そして雨ニモマケズは、かなりの大離曲である。ひと昔前、東海大学グリークラブの委嘱によって作られたもの、もっと全国で愛唱されても、と思うのだが……。ここ迄は、押塚氏の棒による。

さて休憩のあと、アイヌのウポポである。12年前に、関西学院のグリーがアメリカで歌ったもので、6曲のいずれもが、アイヌのことばで歌われる。ウポポとは〈歌〉のこと。1.くじら祭り：鳥の鳴き声を伴うもので、（浜に鯨が上った、みんな見に行こう）。2.イヨマンテ：（熊祭り）は、檻の中の熊に向かって歌う歌。3.ピリカピリカ：はわらべうた、（良い天気だね、誰が好きなの、選んで上げよう）。4.日食月食に祈るうた：（光の神様、あなたは死んでしまわれたのか、どうか生き返って下さい）。5.恋歌：乙女のうたう恋の歌で、（木にもたれて小鳥の囀りを聞く、いとしい人は今頃どうしているかしら）。6.輪舞：は文字どおり、早いロンド、かけ声とはやしことばのみの激しいフィナーレ。全曲は、続けて歌われる。

アイヌの歌の次は、ロシアの民謡を4曲。おなじみのものばかりで1.ポーリュシカポーレはホルホーズに向う若者の隊列が目の前を通り過ぎていくかの演奏法がとられる。2.カチューシャはピアノ伴奏に、効果的な処理がなされている。3.ウラルのグミの木と4.カリンカは渡辺多津彦氏のソロと合唱でうたわれる。カリンカは祝婚の踊り歌であろう。このステージの指揮は学生の宮木君、彼のこの一年間の成長は見事なもので3年生ながら、キチッとまとめ上げ、引っ張っていくリーダーシップに、一時は、ウポポをやらせたらと、押塚、岡本で話し合ったくらいのもので、期待して聞きたい。

このあとフィナーレまでは、何が飛び出すかわからない、おたのしみコーナー、従って???なのである。きっとOBも駆け上ってハーモニーに加わるに違いない。しめくりはエール専修。

（岡本記）



民 芸 陶板 料理  
石焼

# 和 丘

小田急線向ヶ丘遊園駅名店デパートダイエー際 ☎044-933-6687

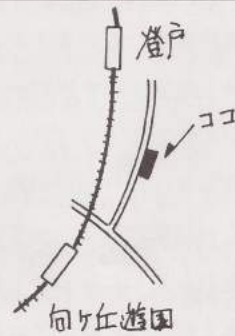
- ※シビック ¥3,900
- ※軽・1tまで ¥5,400
- ※サニー ¥5,600



 **ニッポンレンタカー**

Pants Shop  
**Avenue**®

年中無休 営業時間 AM10:00~PM 8:00  
登戸店 川崎市多摩区登戸店 2597  
TEL 044-911-9415



# れすとらん富士

1 F, レストラン  
B 1, 宴会場  
(10人~120人まで)

営業時間 Am11:00 - Pm 9:30  
忘年会, 新年会, その他各御会合に  
是非ご利用下さい。  
中央区銀座 4-11-2 (丸正ビル内)  
TEL 542-4355・542-2170(宴会場)

# MEMBERS



TOP. TENOR

皆さま、下手をご覧下さいませ。そこに堂々と胸を張っている、ひときはハンサムな十数名の若人たち、それが私たち男声合唱の花形と言われるトップテナーです。しかし、皆さまもお気づきかと思いますが、私たちのパートには、最上級生の四年生が一人もいないのです。これが私たちの悩みであります。あらゆる面で経験豊富な、頼りがいのある四年生がいないということは私たちにとってたいへん大きなハンディでありました。しかし私たちはそんな悩みなど吹き飛ばし、ガッツと若さと明るさを売物にこの一年間頑張ってきました。どうぞ皆さま、トップを中心にすばらしいハーモニーをごゆっくりお聞き下さい。

厚ヶ瀬伸一 (営3) 大分・中津南高  
 本田 淳 (経3) 山形・鶴岡西高  
 宮木雅美 (商3) 神奈川・横浜商高  
 金井克之 (法2) 東京・専大松戸高  
 小林美彦 (経2) 三重・海星高  
 鈴木 修 (経2) 栃木・氏家高  
 板橋孝夫 (経1) 埼玉・朝霞高  
 荻原育男 (商1) 栃木・大田原高  
 小池喜一郎 (商1) 長野・長野吉田高  
 清水 滋 (商1) 広島・呉宮原高  
 本多栄一 (法1) 東京・小山台高  
 丸林 稔 (商1) 三重・宇治山田高



SECOND. TENOR

ひととき輝いている集団。そう、それこそが“我々専大グリーの花”セカンドテナーです。セカンドは、トップの歌うメロディを下から支え、ベース系を引っぱり、歌全体をきらびやかにするパートです。他のパートと異り、実力者の4年生が5名もいて、何がおこっても決して狂うことのない安定した冷静さが特徴であります。また“かけ声”においては運動部以上のパワーと迫力を持ち、今宵も皆様のハートに『じ〜ん』と響き渡ることでしょう。それでは豪華絢爛たるわれらの歌声をじっくりとお聞き下さい。

阿部 一 (経4) 福島・湯本高  
 岩田秀成 (法4) 埼玉・寄居高  
 岡崎光一郎 (営4) 北海道・帯広白樺学園  
 保田光禎 (商4) 神奈川・茅ヶ崎北陵高  
 幸 俊 孝 (経4) 大分・大分鶴崎高  
 黒木繁秀 (商2) 長崎・諫早高  
 関 総 一 (文2) 神奈川・川崎高  
 平 井 修 (経2) 島根・出雲高  
 池田英治 (経1) 福島・米子北高  
 石森誠一 (経1) 奈良・南葛飾高  
 杉本和久 (経1) 長野・土佐高  
 鈴木兵雄 (商1) 千葉・田村高  
 中村吉伸 (経1) 東京・吉田高  
 松田真二 (商1) 神奈川・川名高



BARITONE

男として生まれたからには、男らしく生きたい。せめて声だけでも……。ナイアガラの滝を想わせる“フォルテシモ”深夜の月光の如く皆さんの顔（ほお）を柔くなでるような“ピアノシモ”。そしてその実体は、マイルドな紅茶に薄く切ったレモンを浮べた時に漂よう香よ。それこそが私たちの歌声……。となったらどんなに良いだろうと日夜練習に勤める私たちです。合唱素人が多いパートですが、リーダーの内田さんの美声を中心に代表の安達さんの政治力で団結を固くし、四年生の野々村さん、森田さんの円熟味が霧のように歌声を包んでいるのです。今宵は皆さんにすばらしいハーモニーをお聞かせします。

- 野々村康弘 (経4) 鳥取・米子西高
- 森田与典 (経4) 静岡・静岡学園
- 安達孝道 (経3) 鳥根・出雲高
- 内田幸基 (商3) 福島・白河高
- 大西祥之 (法2) 奈良・生駒高
- 小林正博 (経2) 長野・伊那北高
- 武富均 (法2) 千葉・専大松戸高
- 西口守 (法2) 東京・明治学院東村山高
- 日野智道 (文2) 熊本・専大玉名高
- 大慈弥亨 (商1) 大分・中津北高
- 川田邦博 (経1) 東京・専大松戸高
- 藤島一宏 (経1) 埼玉・早稲田高
- 逸見正興 (商1) 山形・寒河江高
- 宮崎祥治 (営1) 山口・山口高
- 山口好春 (経1) 神奈川・金沢高
- 成田清文 (経1) 山口・豊浦高



BASS

今晚は。さっそくですが、幕が上がりましたら上手の方（右端）を御覧ください。そこには他のパートにはない男の風格と知性を秘めたベースメン12名があなたを見つめている事でしょう（ほら、目と目があいましたね）。さてここで、今年のベースの特徴を。ベースのパート練習は時とすると休憩時間の方が長くなるので、他のパートから羨望の目で見られています、それだけに密度の濃い他のパートにない厳しい練習を行なっています。例えば筆記試験・ベースメンはうらやましげにパートリーダーの顔を見ながら必死に記憶をたどり、明日のグリーを作るべく頑張っています。どうぞ今宵は体を右30度に向けて、低音の魅力を存分にお楽しみ下さい。

- 関根敏視 (文4) 福島・学法石川高
- 前田隆 (法4) 群馬・会津高
- 小林裕 (文3) 埼玉・中央高
- 杉田秀雄 (経3) 東京・小鹿野高
- 越野実 (営2) 静岡・匝瑳高
- 松永達生 (経2) 岩手・静岡学園
- 斎藤俊哉 (法1) 岩手・盛岡三高
- 佐藤浩明 (営1) 北海道・帯広三条高
- 永井延英 (経1) 神奈川・茅ヶ崎高
- 羽島美文 (経1) 群馬・東京農大二高
- 矢口正美 (文1) 山形・新庄北高
- 吉田健司 (営1) 東京・市ヶ尾高



## 知りあい

生田の山に緑がよみがえると今年もまた新たな希望を抱いた新入生がやってくる。さあ勧誘戦線の開幕だ。春合宿で必勝の策を立てたグリーンメンはさっそうと乗り出すのである。他のクラブに負けてたまるか、なるべく多くの部員を捜し出そうと汗を流す。そして今年も20数名の新グリーンメンが誕生した。さてしばらくすると毎年恒例の通称“地獄のコンパ”こと新歓コンパがやってくる。代表のあいさつが終わるや否やたちまちぶったおれる者、はたまた、アルコールがまわるにつれて先輩にからんでくる者等いろいろ。

その夜先輩の家で2時間おきに戻っていた者もいたとか……そして翌日には早朝から夕暮れまで二日酔いにもめげずソフトボール大会を行ったのである。こうして新グリーンメンは真グリーンメンとして育ち、9月15日の岩手コンサートに向って、一步一步前進しようと部員一同結束を固めていくのである。

## 確認

9月7日、もう野辺の千草が秋風にそよいでいる岩手県大船渡市。さあ16日まで学校回りやコンサートを含めた長い長い合宿が始まる。

朝6時30分「先輩起床です」という1年生の声が宿舎内に鳴り響く。おそろくこの時ばかり後輩をおそろしいと感じたことはなかったであろう。目をこすりこすり運動着に着がえ外に出るとさあマラソンだ。合宿の一日はまずこのマラソンから始まるのである。

三陸の朝の新鮮な空気も大学生にとっては苛酷(?)ともいえるこの起床時間では東京のスモッグと同じようなものである。

練習は一日約8時間。同じところを完全に出来るまで学生指揮の不満の声が練習場一帯に鳴り響く。そしてコンサート目指して一丸となって頑張るのである。学校回りも無事に終え、9月15日よいよ本番だ! これまでの練習成果を見てもらおうとまた客席と一体となる合唱をとグリーンメンは一生懸命歌ったのである。

「青春」という心の書物の1ページにこの合宿およびコンサートの思い出がきっと記されていることだろう。



## 剃烹・結婚式場 拍屋

川崎市登戸2466向ヶ丘遊園駅、登戸駅下車  
TEL.044(911) 3191~2・044(911) 5420



向ヶ丘遊園駅北口前

☎922-1725



### 信 頼

夏合宿および、岩手コンサートも大成功に終わり、活気あふれる秋がやってきた。これから定期演奏会までの期間、部員達はたいへん多忙である。その皮切りに行なわれた2年生主催のシュワッチ・ザ・レーション（山手線半周夜歩き）。途中で部員が1名いなくなるというハプニングもあり、スリルに満ちた催しであった。

次にボーリング大会。時価0円(?)はするというトロフィーをねらう人。はたまたセコク、ブービー賞をねらう人とみんなが自己最高のスコアをめざし白熱したゲームが展開された。

クラブの行事はまだまだ続く。次はソフトボール大会である。この所3、4年生の優勝が多いので1、2年生も久しぶりに若さを爆発させた。その他パート別コンパとか学部別コンパも開催される。

とにかくなお一層のチームワークをつくるのがこの時期である。

### 発 見

日脚がめっきり短くなり、落葉の散りしく生田の舗道。毎年此の頃になるとグリーンの中には定演を前に緊迫した雰囲気が流れる。

古枯で練習場の窓ガラスの鳴る音は、我々の声と二重奏を演じてくれる。

学指揮の一層熱のはいった声、何度も繰り返されるピアノの音、歌詞を読みその歌の情景を見出しそうとする者、音を再確認するためにパートリーダーに問う者、歌の強弱などを考えてか楽譜の記号に印をつける者……。みんなの心の中には「定演」という二文字がこだまする。

そして日増しにその意義の大きさに驚嘆し夕暮れまで練習に没頭するのである。



## 磯料理・鍋料理・各一品料理

2F 大衆席・3F 大小御宴会(50名様迄)

御家族連れで楽しくお食事の出来るお店です。

## 大衆割烹 よしざわ

毎週  
火曜日  
定休日

小田急線向ヶ丘遊園南口駅前  
☎ 044-922-8740~1

## 大衆焼肉の店

## 焼肉きざくら

毎週  
月曜日  
定休日

小田急線向ヶ丘遊園南口駅前  
☎ 044(911)4104



### グリーの1年

3月22日～27日	春合宿（於 千葉・岩井海岸）
4月5日	入学式校歌指導（於 武道館）
22日	第1回GBC大会（ボーリング）
5月13日	新入生歓迎コンパ
14日	新入生歓迎ソフトボール大会
28日	武蔵野女子大ルンビニー合唱団 と合同ハイキング
6月11日	三四会出演
9月7日～16日	夏合宿（於 岩手・大船渡）
<11日>	
<12日>	学校巡回
<13日>	
<15日>	岩手コンサート（於 大船渡市 農協会館ホール）
10月7日	シュワッチ・ザ・レーション （山手線半周夜歩き）
21日	第2回GBC大会
27日	グリーソフトボール大会
11月2日～5日	強化合宿（於 代々木オリンピ ックセンター）
19日	“琴世界を回る” 賛助出演 （於 新宿厚生年金小ホール）
11月22日	第14回定期演奏会

#### 運営委員

代 表	安 達 孝 道
副 代 表	本 田 淳
会 計	黒 木 繁 秀
渉 外	杉 田 秀 雄
	厚 ヶ 瀬 伸 一
渉 内	小 林 美 彦
O B 係	大 西 祥 之
総 務	西 口 守
書 記	越 野 実
	関 総 一

#### 技 術 委 員

学生指揮者	宮 木 雅 美
パートリーダー	
T 1	鈴 木 修
T 2	平 井 修
B 1	内 田 幸 基
B 2	小 林 裕

食堂

# 『銀平』

TEL.044(922)2386

精肉・青果・総合食品

## Ⓢ スーパー永井

本 店	☎ 044 ( 90 ) 2525
	044 ( 90 ) 2529
矢 向 店	☎ 045(511) 4142
鹿 島 田 店	☎ 044 ( 53 ) 2138
鶴 川 店	☎ 0427(35) 2562

COFFEE

# Half Not

MODERN  
JAZZ

多摩区登戸 2066 (司ビル 2F)  
044 (900) 0403



小田急線和泉多摩川駅隣  
Tel 489-9562

おでんとラーメンの店

# 末広

小田急線向ヶ丘遊園駅南口

教科書・参考書・文房具  
コピーセンター  
教材その他

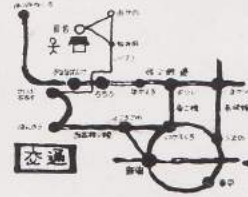
専大図書館前販売店  
**専大書房**

# ランチ の店

専大前  
レストラン九州

## 小動物園!? 旗井荘

馬・山羊・穴熊・犬・猫・兎・チャボ・キジ 他



埼玉県秩父郡小鹿野町 162J  
TEL 04947-5-0550

コピーサービス

# 光陽館書店

書籍・文具

向ヶ丘・ダイエー 3F  
☎044-922-5391

パーラー◆洋菓子

# 林道

向ヶ丘遊園 駅前 (900) 2142

大小ご宴会・ご被露宴・ご法事

# 割烹よさこい

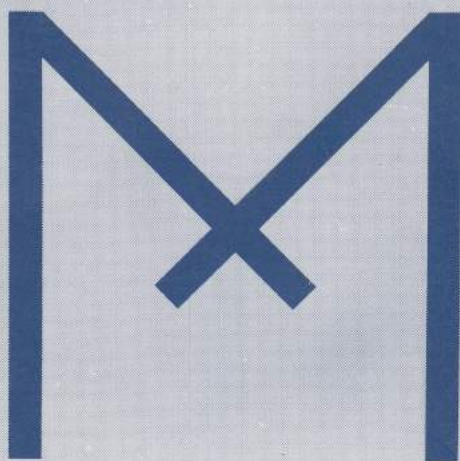
小田急線祖師谷・北通り  
よさこい  
☎484-4351

焼肉の安くておいしい店

# 焼肉三五亭

大小御宴会安く出来ます  
小田急線向ヶ丘遊園北口駅前通り  
☎044-911-9167

感覚かわって、新しい松屋。



MATSUYA  
GINZA

3-6-1 GINZA CHUOKU TOKYO 〒104 2567-1211

MATSUYA GINZA

3-6-1 GINZA CHUOKU TOKYO 〒104 2567-1211